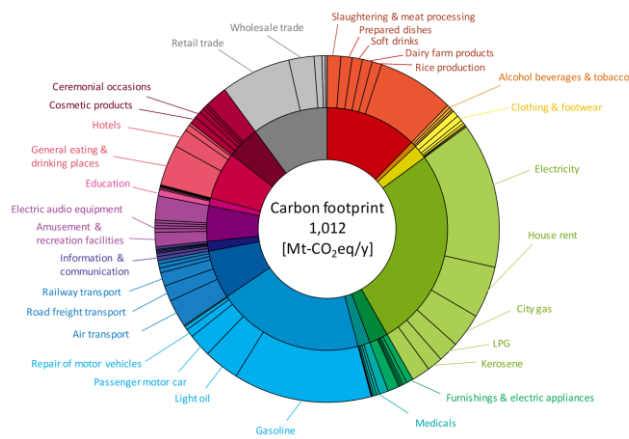


重富研究室（環境システム学）

教員名：重富陽介

● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

環境システム学研究室では、昨今の環境政策に着目しながら隠れた環境負荷の『見える化』を進め、これからの環境負荷削減に向けた新しい知見やアプローチについて探究する研究を行います。例えば、「小中学校の教科書が紙から電子書籍になることは環境にやさしいか？」「オンライン通販はファストファッションの在庫問題を緩和できるの？」といった身の回りの事象と環境問題の関係を、**産業エコロジー学**にもとづきながら考えていきます。



私たちのライフスタイルが引き起こしている日本の隠れた温室効果ガスの排出構造



2019年度四大学合同ゼミ合宿中に訪ねた那智の滝にて

産業エコロジーに関する政策は、すでに社会でも **Scope3 算定基準** や ISO による **環境フットプリント制度**、**SDGs** 等を通じて推進されています。当研究室では、学生一人一人が自分なりの視点を持ちながらシステム思考力を身に付け、国内外で注目を集める環境分野の研究にチャレンジできます。

● 先輩はどんなところに就職しているの？

当研究室では、主に産業間のつながり (BtoB, BtoC) や消費者のライフスタイルについて俯瞰的に学べます。研究室創設以降の卒業生の進路先は、以下の通りです。また、大学院の進学を希望する場合も支援します。
(民間) Amazon、洩上ファインズ、アイケンジャパン、I2C、JR九州、ローム、日本ビジネスソフト (官公庁) 長崎市役所